

広報あさひ

朝日町役場 □ 〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下1133 ☎0765-83-1100



11
2017



『夢と希望 が持てる』まち

— 特集 人口減少に立ち向かう —

『夢と希望が持てる』まち

朝日町ってどんなまち？と聞かれた時、胸を張ってそう言える方はどのくらいいるのでしょうか。

朝日町では、平成28年から平成37年度までの10年間を計画期間とする「第5次朝日町総合計画」を策定して以来、町民一人ひとりが活躍し、輝き続けられるまちづくりの推進、そして、その先にある「夢と希望が持てるまちづくり」を目指して、「子育て支援」をはじめ、「観光振興」や「移住・定住」など、さまざまな角度から、諸施策を積極的に推進しています。

住民や地域、各種団体や事業者など、まちづくりに関わる様々な主体と行政が手を取り合い、平成27年10月策定の「朝日町総合戦略」に掲げた『変えるんです。朝日町』という思いのもと、「オール朝日町」でまちづくりに取り組んでいるところであります。

一方で、日本は本格的な人口減少時代に突入し、少子化による人口減少が加速的に進んでいます。その結果、経済規模の縮小や生活水準の低下を招き、国としての持続性すら危うくす

るという危機的状況が進行しつつある中で、朝日町においても多分に漏れず人口減少は喫緊の課題となっています。

今月号では、人口が減少している中、それに立ち向かう行政の取り組みや人にスポットをあてて特集します。

消滅可能性都市

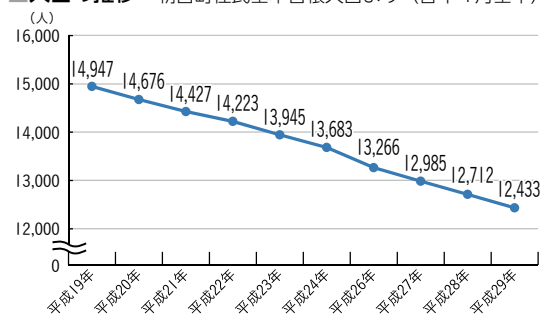
一見すると、ショッキングな言葉ですが、これは3年前に朝日町に突きつけられた「警鐘」です。

日本生産性本部などが中心となって発足した、民間の政策提言組織「日本創生会議」の座長である増田寛也氏が発表した、

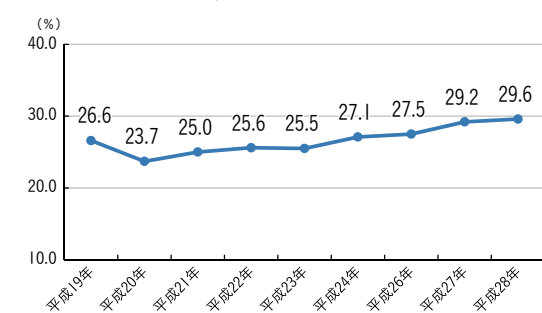
通称「増田レポート」では、2040年時点に出産適齢期である20～39歳の女性人口が半減する自治体を「消滅可能性都市」と位置づけ、全国約1,800市町村のうち、約半数である896市町村が消滅する恐れがあると明言しました。

朝日町は、この896市町村のうちの一つに含まれており、ひいては、県内で最も女性人口減少率が高いと予想され、町の将来像を正確に表したものとは言えないと考えていますが、「富山県で一番消える可能性が高い自治体」という不名誉なレッテルを貼られたのです。

■人口の推移 朝日町住民基本台帳人口より（各年4月基準）



■転出率の推移（人口1,000人あたり） 富山県人口移動調査より



私たちは、この「増田レポート」を単なる「机上の空論」として受け流してよいものなのでしょうか。

右頁のグラフから読み取れるように、町の人口は少しずつではありますが、確実に減少しています。その一方で、近年では町外への転出率が増加傾向にあります。この状況がこのまま続いた場合、増田氏が示した「消滅可能性都市」が、もつとも恐れる「消滅都市」として現実のものとなってしまう。

少子高齢化や晩婚化、女性の社会進出による人口の自然減（出生＜死亡）を食い止めることは、非常に高い壁かもしれません。では、社会減（転出＞転入）を抑制することは不可能なのでしょうか。

答えは「NO」です。誰もが「朝日町に住みたい・住み続けたい」、また、進学等で県外に住んでいる若者が「戻ってきた」と自然に思える「魅力あるまちづくり」を進めていくことで、人口の社会減を食い止めることができるはずなのです。

ここで、町に寄せられる以下の「町民からの声」をご覧ください。

進学で県外に行った若者が
帰ってきても働く場所がない

町がどの方向に向かって
いきたいのかわからない

子どもの生まれる数が圧倒的に少なく、
町に若者を支える力が足りていない

高齢化…空き家…限界集落…

町の将来に不安しかない

広報あさひの
[町の人口]
を見るのが辛い…

職員の意欲が見えてこない。
本当に人を増やしたいの？

合併やむなしか

町に寄せられた「町民からの声」

いかがでしょうか。「辛辣だ」、「ストレートに表現し過ぎだ」と感じる方もいると思いますが、その反面、「そのとおりだ」と思う方も少なくないのではないのでしょうか。

町として上記の言葉を投げかけられて、何もできないまま傍観しているわけにはいきません。また、町だけではなく、町民一人ひとりが危機意識を持ち、「朝日町を変えなければならぬ」という思いのもと、心を一つにしていくべきではないでしょうか。

そこで、この特集では、国において地方創生・人口減少問題について地方とともに取り組んでいくための指針である「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を、朝日町の総合的かつ計画的なまちづくりの3本柱である「子育て応援日本一のまち【朝日町で育てる】」「生涯健康で活躍できるまち【朝日町で働く】」「移住・定住・交流で賑わうまち【朝日町で暮らす】」と捉え、それぞれの分野に係る方々の生の声、そして、吹き出しの中の「町への思い」とともに、朝日町がこれから「進んでいくべき方向」について探っていきます。



『子育て応援日本一のまち』 —朝日町で育てる—

赤ちゃん広場 「ベビーマッサージ」

下のグラフから見て取れるように、朝日町の出生数は減少の一途をたどり、町の存続においては「少子化対策」が喫緊かつ重要な課題となっています。

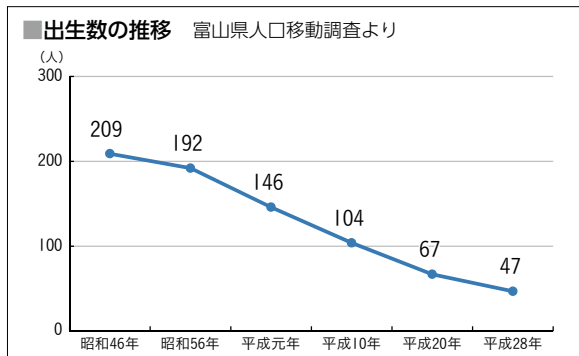
町では、これまで子育て支援として各種施策に取り組んでまいりましたが、多様化するニーズに因應するため、引き続き子育て世代の声に耳を傾け、効果的な事業運営や施設整備を実施していく必要があります。

晩婚化や女性の社会進出などが要因となり、出生数の低下は当町のみならず、もはや日本全国の課題となっています。

こうした中、出生数の増加に向け「生まれる子どもの数を増やすにはどうすれば良いのか」ばかりでなく、「どのような子育て施策があれば安心して産み育ててもらえるのか」という視点が重要となります。

これまで、朝日町では妊娠・出産期から、母子ともに含めた「子育て環境の整備」に力を入れてきました。

保育料の軽減や病児・病後児保育、また、今年度よりスタートした「おうちで子育て応援事業」など、乳幼児期から切れ目のないサポートを実施していま



す。また、児童館や放課後児童クラブ、今年度事業の目玉の一つである「中学生給食費補助事業(無償化)」など、義務教育期も含めて子どもの居場所づくりや経済的支援を行っています。

町としては、夫婦共働きの家庭をはじめ、多様化する子育て世代のライフスタイルに合わせた施策、経済的支援を行うことで「子育て応援日本一のまち」を目指しています。

このような町の取り組みについて、実際に朝日町で子育てをしているお母さんは、どのように思っているのでしょうか。

※インタビューさせていただいた皆さんの横の「吹き出し」は、「朝日町はどんなまち？」と質問した際に、それぞれの立場からいただいた回答です。

『子育てで笑顔あふれる』まち



勝田 民さん

小・中学生から高校生まで、現在4人の子育てをしています。

近年では、朝日町は他の市町村と比較しても「子育て支援策」が充実していると感じていますが、昨年度より拡充された「高校生までの医療費助成事業」に加え、今年度よりスタートした「中学校の給食費無償化」は、食べ盛りの男

の子を育てる親として、経済的にとても助かっています。

給食費の支援策もその一つなのですが、朝日町は子育て応援をはじめとした、「人づくり」に特に力を入れているのだと感じています。それは、PTAの会合等で他市町の保護者と情報交換した時や、町外から移住してきた子育て世代の方と話した時に、改めて気づかされます。

また、児童館や放課後児童クラブといった、終業後に子どもが遊んだり活動したりする場所も整備されており、働いている子育て世代へのサポートも充実していると思います。親にとって子どもを「安心・安全」にあげられる環境があるのは、とても恵まれていると思います。

情報化社会に対応できるように、ICT（情報通信技術）教育が進んでいるのも心強いです。一人ひとりがタブレットに触れながら授業を受けることができるのは、コンパクトな朝日町だからこそできるものと思っています。

子どもの数が減っていく一方で、家族や子育てのあり方は多様化しています。これまで、町が取り組んできた子育て支援に感謝の思いを持ちつつ、私たち子育て世代が「この町で子育てができて良かった」と、内にも外にも胸を張って言えるような取り組みを続けてくれることを、これからも期待しています。

子育て世代の
思い

朝日町で子育てをしているお母さんの「生の声」からは、町の各種支援について、**良い面**（医療費をはじめとした他の自治体よりも充実した経済的支援等）も、**改善してほしい面**（子育てに関する情報発信のさらなる強化等）も何うこととができ、言葉のひとつひとつから、「町の『宝』である子どもを健やかに育てたい」という強い思いが伝わってきました。

出生数を増加へと導くた

めには、町のみなならず、地域も一緒になって、若い世代が「朝日町で暮らし、家庭を持ち、子どもを産み育てたい」と思ってもらえるまちづくりを進めていかなければなりません。

子どもたちが笑顔で健やかに成長することができるよう、そして、誰もが「子育てで応援日本一のまち」と胸を張って言えるよう、「今、しなければならぬこと」そして「これからしていかねければならないこと」を共に考えていきたいと思います！

『地域みんなで町の“宝”を育てる』まち



水島 勝美さん
けいじゅ 京寿くん

10か月から10歳まで、5人の子どもを育てています。朝日町は他市町村と比較しても、子育て支援に力を入れています。特に「インフルエンザ助成」については、多子になるほど経済的負担が大きく軽減されるので、とても助かっています。保育料の半額無料化や中学校給食費の無償化など、子どもの教育に必要なものの支援がこれまで以上に拡充されれば、より子育てしやすい町になると思います。

また、役場や病院に掲示してある子育てに関する情報を「そこに行く機会がなければ知ることができない」のではなく、子育て世代がよく行き来する場所での情報提供や、ケーブルテレビを使った情報発信などを増やし、今よりももっと身近に情報を得ることができると嬉しいです。

そして雨の日や、子育て支援センターや児童館のやっていない休日にも、子どもたちが安心して出かけられ、楽しむことができる施設があれば最高の町になると思います。

私は初産なのですが、第1子誕生の際には、すこやか応援券のプレゼントなどがあり、町をあげて「子育てを応援する」といった雰囲気があると思います。ただ、券の使える場所をもっと増やしていくなど、子育て中の母親のニーズに合わせてもらえると嬉しいですね。

また、子育てに関しては、育児について学び、母親たちとの情報交換ができる場が充実していると思います。町内には子育て支援センターが2箇所あるので、気軽に行くことができ、助かっています。

ただ、私自身、妊娠から出産に至る経緯は、体力的にも精神的にも大変でした。子どもを産み育てるためには、まずは母親が元気であることが大切です。

産前・産後の負担が増す時期に、「体と心のケア」をサポートする教室や集いの場が増えれば良いと思います。



濱田 有紀子さん
ゆう 悠 太くん

『豊かな自然の中でのびのびと子育てできる』まち

『生涯健康で活躍できる』まち —朝日町で働く—



渡辺功機



昨年11月より稼働している新工場



アムノス

人口の減少



企業の数が減っていて、

町内での仕事がない



人口のさらなる減少

今、朝日町はこの負のスパイラルの図式を断ち切るべく、「企業を増やす、サポートする」と、また、「働く場所、起業支援」といった、企業、そして人のための「働く環境づくり」に力を入れています。

企業誘致等施策の成果においては、今年4月、産学官および医工連携を実現する富山大学発のベンチャー企業「アムノス」の再生医療向け乾燥羊膜の製造工場の完成が記憶に新しいところであります。

また、月山地区内に本社工場を有する産業用ロボット製造の「渡辺功機」が、町の企業立地奨励事業を活用し、本社工場の隣接地に新工場を建設（昨年11月より稼働）したことで、町内外からの新たな雇用へとつながりました。

このほか、町民を雇用了事業所および雇用された町民への

雇用創出奨励金（諸要件あり）

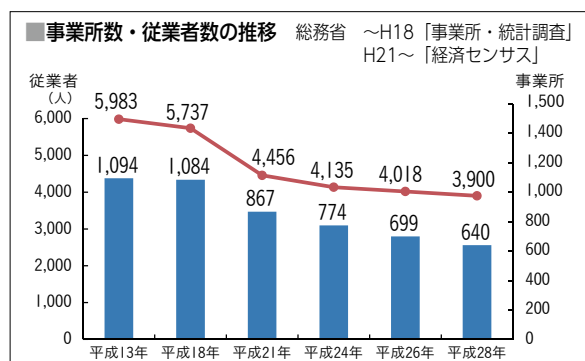
の交付や、「朝日町商業等魅力アップ事業」の一つである「朝日町起業応援事業」では、町内の空き店舗等を改装し出店した

起業家への補助金制度（喫茶店等の出店に活用されました）など、「雇う方、働く方、新たに

起業する方」への支援制度も充実しています。

右肩下りの事業所数、従業員数の推移を食い止め、新たな雇用創出、地域経済の活性化、そして人口の増加を図るには、

企業誘致をはじめとした「働く場の整備」が最重要課題となっています。



働く人の “声”



渡辺功機
近藤 孝徳さん

『楽しく働ける！』まち

新工場稼働時に応援として来たことが縁で、この職場で働くことになりました。今は本社近くの工場で、良い上司や仲間とともにアルミ加工等の業務に従事しています。

仕事を機会に、新潟県長岡市から朝日町へ引っ越すこととなったのですが、町の「空き家情報バンク」等を活用し、スムーズに家を見つけることができました。2月に転入してきてから8か月、妻と4歳の長女、1歳の長男も町に馴染んでおり、のびのびと子育てしています。

前に住んでいた長岡市では、全国規模の「花火大会」が開催されていたので、朝日町でも子どもから大人までみんなが楽しめる「夏のイベント」等がもっと開催されていくと嬉しいですね。

朝日町は、人との距離感も程よく、とても住みよい町だと思います。これからも自然豊かなこの町で、働き続けていきたいと思っています。

町に若者世代の雇用を創出し、経済の活性化をもたらすのは、商工業やサービス業だけではありません。豊かな自然条件を活かした「農林水産業」が盛んな朝日町では、稲作を中心とする農業は主要産業です。

▼農業インターンシップの様子
今年は女子学生が活躍しました



▲あさひ担い手ネット
特別栽培米の田植えの様子

1次産業の 底上げを

しかし、農林漁業従事者の超高齢化や後継者不足は深刻な問題となっており、それらの衰退を防ぐためには、経営の効率化や担い手の育成、生産力の強化と6次産業化（生産者が食品加工から流通まで総合的に関わり、加工賃等を自身で得ることで1次産業の活性化を図る経営形態）を図り、地産地消を推進していかなければなりません。

このように、農林水産業への逆風が吹く中、昨年3月に発足した若手農業者・漁業者で構成する「あさひ担い手ネット」は、農業の使用を抑えた特別栽培米をつくり、販路開拓に取り組みことで、町の1次産業の底上げを目指しています。

また、町では昨年より「農業インターンシップ」を開催し、首都圏等から農業に関心のある大学生を呼び込んだ「農業体験」を実施。農業への理解、そして就農へとつなげる取り組みを積極的に行っています。

企業誘致や雇用の創出は一朝一夕で成し得ることができません。だからこそ、「新たな企業が町にやってきた」というニュースは、朝日町の「明日への希望」となるのではないのでしょうか。

新たな企業や工場を誘致するためには、地域の方々の理解と協力が不可欠です。今後、更なる若者労働者の雇用を創出する

べく、町民一丸となって「働く環境づくり」を推し進めていきます。

また、一人ひとりが地元で採れたたものは地元で消費する「地産地消」の意識持つことが、1次産業の活性化につながっていきます。「朝日町ブランド」をつくることできるのは、町民である私たちよりほかありません。

『人とのつながりの“多様さ”を感じることもできる』まち



地域おこし協力隊
服部 大介さん

地域おこし協力隊として、農事組合法人ハイテック大家荘にて昨年の4月から農業に従事しています。

以前から海や山など、自然あふれる場所に住みたいと思っていました。縁があ

って農業体験ツアーで朝日町を訪れ、そこで、「人の温かさ」に触れたことがきっかけで、朝日町への移住を決めました。

移住前はサービス業や製造業に従事しており、農業はまったくの未経験でした。夏場の過酷なビニールハウスの中や、台風など、天候に左右されやすい農業は、想像以上に過酷な仕事であることを痛感しましたが、周囲の人たちに助けられながら、勉強する日々を送っています。近隣の農家や近所の方々と、収穫した野菜のやりとりをする機会もあり、農業を通して、都市部では味わうことのできない「人との距離の近さ」そして、「人とのつながりの素晴らしさ」を知ることができました。

今後は、農業の仕事を中心としながら、小さくても多様な仕事を作って、特定の雇用への依存度を減らし、幸せな生活を築いていきたいと自分では考えています。

仕事のないところには定着できません。「田舎には仕事がない」という言葉をよく耳にしますが、多業化して都市部にはない働き方を実現すれば、移住者の増加、地域の活性化が図れるのではないかと思います。自分がその一例となることで、ささやかながらも朝日町のお役に立てればと思っています。

『移住・定住・交流 で賑わう』まち —朝日町で暮らす—

整備中の移住定住拠点施設（泊駅前 旧「こすぎや」南側より）



移住定住相談員
善田 洋一郎さん

『可能性は無限大！ なんでもできる』まち

移住定住相談員として従事して半年経ちましたが、業務を通して、想像していた以上に多くの方が、それぞれのストーリーを持って「居場所を求めている」ということを感じました。

普段は、空き家の利活用等をメイン業務としており、相談があった際には、可能な限りすぐに対応することを心がけています。

今年に入り、空き家情報バンクのマッチング件数が堅調に伸びており、これまで町がひとつひとつ取り組んできたことが花開いてきたと実感しています。

また、「空き家情報バンク登録」への心理的ハードルが下がってきたことも要因の一つだと考えています。仏壇や荷物がそのままであっても、まずは「登録してはどうか」と家主さんに提案することが、利活用につながると思っています。「この空き家なんて、欲しい人はいないだろう」というマイナスな意識が、「この空き家…どうしようか。とりあえず役場に相談してみるか」といった、前向きな気持ちに変わることを願っています。

また、移住者のみならず、観光客や地元の方まで、みんながそこに集まり、つながりが生まれる場をつくりたいと考えています。私自身、朝日町再生会議「移住・定住班」の委員でもあり、泊駅前の旧「こすぎや」を活用した、移住定住拠点施設の運用について検討しています。移住希望者は仕事や空き家情報を求めて、地元の方は気楽に話せる場を求めて、両者が一つの「縁」でつながることで、移住・定住や町への愛着が生まれるものと思っています。

移住定住や空き家に関する業務に携わる当初から思っていた「朝日町に関わった人たちがみんなが幸せになる」ことを目指して、これからも業務に励んでいきたいと思っています。

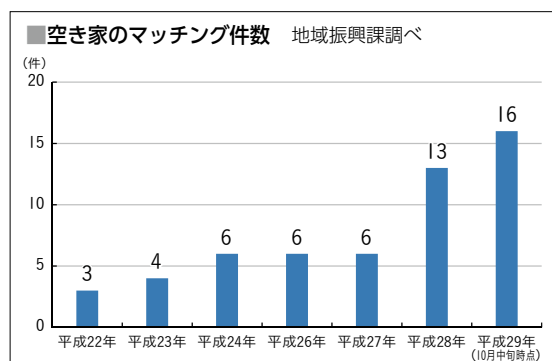
人口定着の基盤づくりとしては、住宅地の供給や利用拡大、および良好な居住環境を提供していくことが重要です。当町ではこれまでに「よこお団地」をはじめとした分譲宅地の整備、住宅取得奨励金交付制度やU・Iターン向け住宅の整備など、定住を促進するための制度の充実を図ってきました。

「空き家を持て余している家主」と、「手頃な物件を探している方、空き家をリノベーションして利用したい方」等とのスムーズな橋渡しが実現してきており、町内はもとより、町外から人を呼び込む既に一つの流れとなってきています。

ことが、町を活性化させる基本となるのではないのでしょうか。

空き家は「町の財産」とも言えます。まずは「こんな古くなった家なんて誰も住みたがらないよ」という考えを「手入れをすれば誰かに使ってもらえるかも」という考え方に転換していくことが大切です。

「今あるものを有効活用する」



住む環境を整えた次のステップとして、「いかにして人を呼び込むか」ということに目を向けていかなければなりません。

町では、全国の移住希望者を呼び込むべく、首都圏での「移住セミナー」等を利用した情報発信や、実際に町に来てもらい町の魅力を知ってもらう「移住体験ツアー」を実施しています。

町の魅力を言葉だけでどれだけ説明しても伝えられる情報には限りがあります。朝日町に実際に来て、見て、肌で感じてもらうとともに、移住してきた方の「生の声」を聞いてもらうことが、効果的であると考えています。

また、移住希望者に「朝日町に住もう」と思ってもらうためには、「ニーズに応じた素早い対応」と「幅広い選択肢の提供」が求められます。今年度より、自身も移住者である善田さんを「移住定住相談員」として配置し、移住・定住、空き家等に関する諸相談に応じる体制を整備しています。

今後も、移住定住相談員の善田さんを軸に、移住希望者へのきめ細かなサポート、そして、まずは「朝日町を知ってもらうこと」に力を入れていきます。

町を知ることから —Uターン向け 住宅貸付事業—



朝日町に住んでみたいと思っても、「地域の風土や人となじめるのか」といった不安要素が原因で移住を決断できない。

こうした方のために町が町内にある空き家を借り上げて整備し、期間限定（原則1か月以上1年以内）で町の生活を体験できる「お試し住宅」があります。

1年を通した町の気候や地域の風習などを肌で感じるこののできる、移住希望者にとっては大変有用な事業です。

現在は、泊中心部の「まちなか住宅」、山村部の「さとやま住宅」が整備されており（いずれも入居中）、年度内に沿岸部の「しおかぜ住宅（仮）」がオープンする予定です。



まちなか住宅に入居中の安崎さんご家族
右から哲也さん
長女：理恵さん
妻：伏さん
長男：龍輝くん

『子どもから大人まで、 人との距離が近く温かい』まち



安崎 哲也さん

仕事の関係で中国の上海から急遽日本に戻ってくることになり、新川地域周辺で家を探すことになりました。

短い期間で近隣市町を回り、最終的に「朝日町に住もう」と思ったのは、移住定住相談員である善田さんの丁寧な対応、充実した子育て支援策、そして、職員の方たちの「いきいきとした雰囲気」が伝わってきたからです。

「お試し住宅」という制度は、私たちのように町外から引越してきた家族にとっては、とても有用な施策だと思います。1年あれば、町の概要や降雪などの状況を把握するのに十分ですし、今回入居した「まちなか住宅」は、スーパーや保育所、病院などが徒歩圏内で、免許証を持っていなくても不自由なく生活できる場所にあり、非常に好立地であると感じています。

これからは、この「お試し住宅」のような居住支援策に加えて、「地域の情報が容易に検索できるシステム」が運用されるとさらに便利だなと思います。「自宅がどの町内（地区）に該当するのか」といった基本的なことや、「各地区独自の風習」「町のイベント案内」など、「これを見れば朝日町に関するあらゆる情報を一目で知ることができます」といったものがあれば、転入者にとって心強いと思います。

転入してきて3か月経過しましたが、朝日町は自然豊かで、とてもよい町だと思います。家族も気に入っており、お試し期間終了後の定住も検討しています。

移住・定住を促進していくためには、移住希望者のお試し生活のニーズ対応や、選択できる物件の充実、そして、良質な住環境の提供が重要です。

若い世代の移住者をさらに呼び込んでいくためには、**働く環境の整備**や**子育て支援**が大切ですが、その前提として、「住みよくなる地域づくり」を推進していくことが求められます。

移住者の呼び込みを行う自治体では、移住者が「ちゃんと地域になじめるだろうか」と不安な気持ちを抱えている裏側で、地域の方々も「どんな人がここにやって来るのか」という思いを持っており、お互いが身構えてしまった結果、定住に結びつかなかったというケースも少なくありません。

両者が抱える不安を緩和し、移住者・地域ともに、スムーズになじんでいくことができるよう、町内各地区に所在する「空き家コンシェルジュ」をはじめとした、地域全体で移住者を受け入れていこうという雰囲気をつくっていかねばなりません。

新たな人と人とのつながりが、これまでにない朝日町を生み出していくことになります。

朝日町再生会議

ここまで、「朝日町で育てる」「朝日町で働く」「朝日町で暮らす」の3つの分野で、町の施策や関係する方々の声を紹介してきました。

町では、町民が自ら参加し、まちづくりを考える、まさに「町民が主役」の取り組みも展開しています。それが「朝日町再生会議」です。

朝日町再生会議は、行政と町民が一体となった町民参加の「夢と希望が持てるまちづくり」の推進を図ることを目的に、平成27年1月に設立されました。

第1期の会議で議論された内容や意見は、平成27年10月、そして、昨年の11月の2回にわたり、『提言書』として町に提出され、朝日町総合戦略や第5次朝日町総合計画、そして、本年度予算にも反映されました。

今年の5月より、委員の半数を入れ替え、「第2期朝日町再生会議」として新たなスタートを切りました。

委員は20～40代の若い世代で構成され、町の喫緊の課題である「少子高齢化・人口減少」に立ち向かうべく、「移住・定住」「若者の活躍」「子育て応援」の3つの班に分かれ、活発に議論しています。

各委員が「消滅可能性都市」というネガティブな位置づけに対し、「消えてたまるか！」という気概のもと、柔軟な発想とスピード感を持って、「未来の朝日町のための提言」を検討しています。

現在、第2期としては本格的な議論を2回終えたところですが、各班からは既存の事業をさらに拡充させるべく発展的な事業案や、コミュニティを広げるためのイベントが企画されており、「再生」はもとより、「町民が主役のまち」「夢と希望が持てるまち」へ向け、着実に前進しています。

ここでは、各班の中心となる委員に、「再生会議への思い」そして、提言に向けた「今後の展望」についてインタビューしました。

若者の 活躍班

地域おこし協力隊として活動していく中で、今よりももっと地域に入り込んで、

これまでにない「新しいことをしたい」と思い、第2期より委員として再生会議に参加しました。

若者の活躍班は、委員がそれぞれの仕事を持っており、異なったフィールドからの多様な意見を反映させながら議論しています。

会議を進めるにあたり、「若者の活躍」という、限りなく広いテーマについて話していくうえで、まずは、「活躍」ということの意味について、委員各自が意見を出し合いました。その場で「若者の活躍＝朝日町民の活躍」という一つの意見が出ました。「町民一人ひとりが活躍すること」が、そのまま「朝日町が盛り上がっていくこと」につ

『じわじわ流れが きている』まち

服部 彩子 委員



ながっていくものであると考えています。

これから、提言の提出に向けてより具体的な議論を交わしていくことになりますが、まずは、委員それぞれが楽しく、そして「地域に入りながら」という再生会議のサブテーマを念頭に、意見を交わしていきたいと思っています。

委員それぞれの思いが地域の町民を巻き込みながら、「朝日町にこんな無かったよね!」を生み出す“化学反応”を起こしていきたいと思っています。

移住・定住班では、「空き家の有効活用」や「朝日町を題材にした『マンガ』の作成」、「移住体験ツアー」、「地域おこし協力隊の受け入れ体制」など、「いかにして町に人を呼び込み、定着につなげていくか」をテーマに、幅広く議論しています。

第1期再生会議より、「空き家情報バンク」や空き家を利活用した泊市街部の活性化「アサヒリノベリア構想」に取り組んでおり、第2期当初よりある程度の道筋ができていました。私自身も委員として2期目を迎えたこともあり、この第1期より継続している取り組みをより充実させていきたいと思っています。

また、移住・定住策の次のステップとして、「移住者にいかに『ずっと住み続けてもらうか』、ということについて考えていかなければならない」と思っています。その前提として、朝日町での「仕事」に関する仕組みづくりや情報発信について、強化していかなければならないと思っています。最近の傾向としては、働き盛りの世代の移住

希望者が多く、「幅広い仕事の選択肢」を提供することが、結果として定着につながってくるものと思います。

また一方で、町内の企業の中には、「担い手がない」と嘆いている声も耳にします。そんな「仕事を探している移住希望者」と「働き手がほしい町内の企業」をマッチングさせる仕組みをつくるのであれば、朝日町への移住者をさらに増やしていくことができるものと思っています。また、町の移住・定住施策のひとつとして、「お試し住宅」の制度がありますが、同じように、移住者が町内の企業で「お試し就業できる制度」等を整備することにより、一定の期間働き、お互い人となりを知ったうえで就職に結び付けていく、そんな双方にとってメリットとなる制度もあったらいいなと思っています。

最近では、町をあげて「移住者を受け入れていこう」という空気ができつつあると感じています。この雰囲気をもっと良い流れとしていくことができるよう、意見を出し合っていきたいと思っています。



『幸せに暮らせる』まち

坂東 秀昭 委員

移住・定住班



『ひとりひとりの存在が大切な、生まれて“当たり”の』まち

野末 聴子 委員
長女 朋実ちゃん

子育て応援班

再生会議は2期目となるのですが、第1期の任期の間に妊娠・出産を経験し、生活に大きな変化がありました。

第2期でも委員として活動していくにあたり、「自身の子育ての経験を活かすことはできないか」また、「『子育て応援日本一』まちづくりのお手伝いできないか」と思い、「子育て応援班」を立ち上げました。

子育て応援班では、「妊産婦期の買い物支援」や「授乳室等の環境整備」など、朝日町で子育てをする母親たちの後押しができるように、よりよい子育て環境を目指して意見を交わしています。

直近では、子連れでも気軽にお茶ができる場の提供、また、母親同士が子育ての悩みや情報交換

ができる場として、喫茶HYGGEでの「ママお疲れ様ハーブティー&スイーツ会」（広報あさひ10月号4Pで紹介）を企画しました。このイベントをはじめ、これからも町内・町外出身にかかわらず、朝日町で、子育てする母親のニーズに合わせた交流の場を提供していきたいと思っています。

また、子育て世代の家族はもちろん、地域の方々が「あそこに行きたい・連れて行ってほしい」と思えるような、「公園」や「子育て支援の拠点施設」の提案もしていきたいと思っています。

そして何より、自分自身が朝日町で子育てを楽しみ、さらに奥深い町の魅力を掘り起こしていきたいです。

子育て応援班は再生会議で子育て応援を一緒にしてくださる方（男女どちらも歓迎）のご参加をお待ちしています。

町長の思い

◎町の取り組みや各方面からの意見等をご紹介しましたが、「夢と希望が持てるまちづくり」に向けて、笹原町長にインタビューしました。

立ち向かう覚悟

3年前、増田レポートで「消滅可能性都市」と位置づけられたことについては、当時は強い衝撃を受けました。町長に就任して以来、「夢と希望が持てるまちづくり」に向けて様々な施策に取り組んでいた頃、そのような現実を突きつけられたこと

については、一自治体のトップとして思うところがありました。しかし、机上の空論に抗うのではなく、逆にプラスにとらえたことで、「消滅可能性都市」という言葉が職員の意識の啓蒙・啓発へとつなげることができたものと考えています。

そして私自身、これまで以上に地域に密着した施策を打ち出し、少子高齢化、そして人口減少に立ち向かっていく「覚悟」を決めるものとなりました。

切れ目のない施策を

ここ最近では、これまで力を

入れて取り組んできた「子育て支援」「移住・定住策」「企業誘致」「看護人材の確保」などの施策の成果が、じわじわと現れてきていると感じています。

出生率の低下や晩婚化等の流れから、人口の「自然減」を食い止めることは難しいかもしれませんが。だからこそ、町民のニーズに応じた切れ目のない施策を打ち出し、「社会減」を食い止めていくことが重要であると考えています。

点と点を「線」に、

線と線を「面」に

最近では、地域おこし協力隊や、地元の若い力によるイベントなどで町が活気づき、ところどころに「明るい兆し」が見えてきていると感じています。

魅力あるまちづくりを推進していくためには、行政と町民が互いに手を取り合い、共に汗を流していかなければなりません。

朝日町は、行政と町民の距離が近く、情報の行き来がしやすい「コンパクトさ」が強みです。行政が積極的に地域に入り込んで情報交換し、町の財政状況や将来計画等に対する正しい情報をお伝えしていかなければならないと思っています。あらゆる

角度から正しい情報「点」を発信すること、双方向の理解「線」から、やがては町全体の認識「面」へと広がり、町民の「マインド」が変わっていくものと思っています。



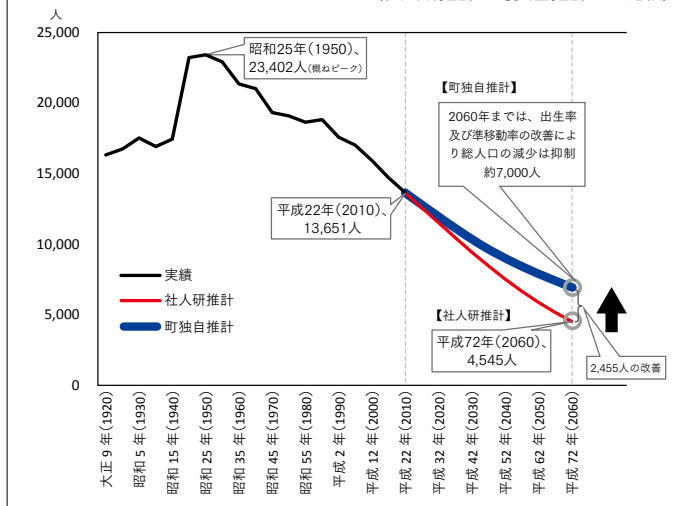
『町民が主役の』まち

「夢と希望が持てるまち」をつくるのは、行政ではなく、あくまで主役である町民の皆さんです。私たち行政は、その活躍の後押しができるよう、常に先を見据えた町政運営に取り組んでいかなければなりません。

ヒスイ海岸、舟川べりの「春の四重奏」、ビーチボール競技など、朝日町は魅力あふれる素材がたくさんあります。これからは新たな魅力づくりにチャレンジしつつ、町に「今あるもの」をさらに活用すべく、町民の皆さんと知恵を出し合っていきたいと思っています。

■朝日町の人口の推移と超長期的な見通し

(社人研推計と町独自推計との比較)



50年後も、100年後もずっと朝日町が「朝日町」として在り続けるためには、誰かが「変えてくれる」のを待つのではなく、一人ひとりが町を「変えていく」という思いを持つことが必要です。

左のグラフをご覧ください。今からおおよそ70年前の昭和25年をピークに、朝日町の人口は減少し続け、遠くない将来である40年後の平成72年には、5,000人を切り、現在の3分の1の数字となっています。このままの状況に甘んじているだけで、本当によいのでしょうか。

よいはずがありません。一人ひとりの力で、**赤線**から**青線**へと変えるんです。

町では、右頁グラフの**青線**で示した人口の推移を、第5次朝日町総合計画の人口フレームにおける「段階的に出生率の向上、転入促進と転出抑制が進むと仮定した展望人口」として打ち出し、活力と賑わいあるまちづくりへ取り組みのための指標としています。子育てしやすい環境づくりの推進や就業の場の創出によるU・I・J・ターンの促進、福祉環境の充実や交通利便の向上を図ることにより、**赤線**ではなく**青線**の人口推移を目標としています。今後も、長期的なビジョンをもち、常に先を見据えながら各種施策に取り組んでいかなければなりません。

「変える」ことは「進む」ことであり、「生み出す」ことです。後ろ向き姿勢からは何も生まれません。まずは、「前向きになること」からはじめませんか。町に寄せられた以下の「町民からの声」をご覧ください。

犯罪や災害が少なく、実際はとても生活しやすい町だと思う

「子育て支援が充実してるね」と、町外の友達からうらやましがられます。もっとアピールしたらいいのにな

自然を活かした「朝日町ブランド」をもっと広めていけば、町中に活気がでてくるはず！

最近は新しいお店ができたりして、楽しい気持ちになります☆

豊富な自然や、子育て環境は整ってきている。あとは若者をどうやって呼び込むかだけ

町民が楽しく暮らせるまちづくり。まずはこれから！

人とのつながりが広がる素晴らしい町。
一歩ずつ前へ。頑張れ朝日町。

町に寄せられた「町民からの声」

前向きな気持ちになってきませんか。

3頁のように「ストレートな町への思い」の裏側で、上記のような「前向きな声」も多くなりそうです。

「消滅可能性都市」という強烈な言葉に立ち向かうには、町民一人ひとりの力を結集し、同じベクトルで進むことが必要です。今回の特集では「子育て応援日本一のみち」「生涯健康で活躍できるまち」「移住・定住・交流で賑わうまち」の三つの柱を、**「子育て」「仕事」「移住・定住」**に置き換えてピックアップしましたが、このほか、「観光振興」や「福祉」「スポーツ」「防災」など、子どもからお年寄りまで、朝日町に関わる全ての方が、まちづくりの主役なのです。

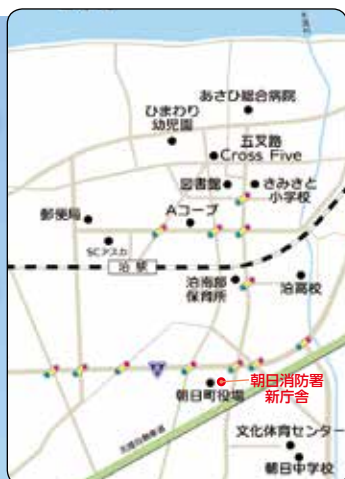
この「広報あさひ11月号」を閉じ、町民の活気あふれる「表紙」を目にしたとき、一人ひとりが、

朝日町は、
『 まち

と、この『』の中に、胸を張って言える何かを感じてもらえると幸いです。

1万2千通りの思いをお聞かせください。

新庁舎 築移転



内覧会



役場東隣で建設を進めていました朝日消防署の新庁舎が完成し、10月14日、竣工式が行われました。

テープカット、式典の後、出席者の前で町消防団第1分団による操法訓練、消防署員による救助訓練が披露されました。見学会に加え、消防車、救急車の展示や放水訓練なども行われ、多くの親子連れなどで賑わいました。

竣工式



テープカット



式典



操法訓練 (消防団員)



救助訓練 (消防署員)



見学会

施設概要



車庫棟



出動準備室



会議室



厚生室

(女性用仮眠室にはシャワールーム有:右)



訓練塔

朝日消防署 新



新庁舎は鉄骨造りの2階建て、光を取り込んだ明るい雰囲気の事務室、出動準備室や、スペースに余裕のある車庫棟、多様な形態にも対応した会議室、個室化された仮眠室、女性職員にも対応した厚生室などを備えています。

また、多種多様な災害から地域住民の生命を守るため、2つの訓練塔をはじめとする訓練施設を備え、地域を守る防災拠点として消防、救急、救助等の各業務を行います。





「フラトマリ」&「笹川カメラ
女子さんぽ」 参加者募集☆

泊のまち歩き企画「フラトマリ」
～泊の成り立ちを地形から読み
歩く～

第3回フラトマリ!?泊町以前
のまちを探索

日時：11月5日(日)午前9時～
正午 ※4日(土)締切

集合：朝日町図書館 会議室

参加費：1,000円

※雨天決行

案内：柳下善一さん、本丸さん
笹川カメラ女子さんぽ

◎定員10名

女子フォトグラファー徳光典
子さんと、笹川でてくてくおさ
んぽカメラワークシヨップ。

日時：11月11日(土)午前9時～
午後1時 ※9日(木)締切
集合：ささ郷ほたる交流館
参加費：3,000円
※雨天決行
持ち物：愛用のカメラ

味のふるさと便 追加募集

ご好評につき、朝日町の特産
品をお届けする「味のふるさと
便」のお歳暮コースと冬の味覚
コースを追加募集致します！

お歳暮コースは地酒やかまぼ
こ、切り餅等のセットになって
おり、冬の味覚コースは釜茹で
のベニズワイガニを直送致しま
す。

コースおよび料金

☆お歳暮コース 7,000円

☆冬の味覚コース 6,500円



締め切り 12月1日(金)

申し込み・問い合わせ

商工観光課(☎役場内線254)

あの子のね

ひまわり幼稚園の巻 「高級給食」 (5歳児)

給食の時間。配膳を心待ちに
しているAくん。

保育士「今日の給食はなんとど
こまあえでーす！」

Aくん「え!!今日の給食『こま
えん』するん!」

「こまあえ」と5万円、確
かに似ていますね☆

「ハッピー☆ハロウィン」 (2歳児)

みんなが大好きなおばけの絵
本を読んでいるとき

Aくん「おばけさんかわいいね♥」

Bくん「おばけさんいっぱいあつ
たね!」

保育士「いろんなおばけさんいる
ね。ほら見て!かぼちゃさ
んもおばけに変身してるよ!」

Cくん「Cくん知ってるよ!それ
ハロリンやよ!」

Cくんおいしい!ハロウィンで

「どうもろこし!」 (1歳児)

今日の給食のメニューはまめ
まめスープでした。

Aくん「せんせ、どうもろこし!」

保育士「どうもろこし、入った
たね。おいしいね!」

Aくん「どうもろこし!どうもこ
ろし!」

保育士「Aちゃん、どうもろこし
だよ。言ってみて。」

Aくん「……こーん!!」

英語も知っているAちゃんでした♥

「お金がない!」 (3歳児)

Aくん「ほくね、もうすぐデイズ二
行くんやよ。」

保育士「わあ、いいなあ、先生も
行きたいな。」

Bくん「えー、だめやよ。デイズ二
行く時つて、いくつばいお金い
るんやよ。ママがね、この前
デイズ二行つたから、もうお
金ないつて言つた。先生も
お金ないやろ?だからダメ!」

保育士「そっかあ、残念!」

Bくん「…あ、わかつた!じゃあ私
のパパにお金もらつてあげる。
そしたら一緒に行こう!」

保育士「Bちゃん、ありがと!」

Bちゃんパパ、楽しみに待っ
てまーす!

小川温泉行き 連絡バスの試験運行

羽入バス停～小川温泉元湯間
で、連絡バスの試験運行を行
います。

期間：11月20日(月)～12月29日(金)

時間：行き 午前11時40分

午後3時40分

帰り 午後3時25分

午後5時

小川温泉元湯発

※羽入バス停で乗り換えが必要
となります(あさひまちバス南
保線と連絡)。連絡便のご乗車
には料金がかかりますが、あ
さひまちバスご利用の区間につ
いては別途利用料金がかかります。
午後5時小川温泉元湯発の
便については、午後5時22分柳
田バス停で愛本線に連絡します。

交通事故発生状況調

9月末現在()内は前年同月比

	人身事故			物損事故
	件数	死者	傷者	
県内	2,328件 (-153)	27人 (-18)	2,735人 (-132)	
入善警察署管内	39件 (-25)	0人 (-1)	44人 (-25)	448件 (-28)
朝日町	5件 (-4)	0人 (±0)	7人 (-3)	113件 (+1)

私の将来の夢は、助産師です。どうして助産師になりたいと思ったかというと、テレビドラマを見て、新しい命がたんじょうすることは、すてきなと思うからです。そのお手伝いを将来できたいなと思います。夢に向かって、今できることをがんばっていききたいと思っています。



かなもり みなみ
金森 美波さん
(松涛町)
さみさと小学校 6年

夢に向かって羽ばたけ！ 未来の主役たち



おがわ ゆうと
小川 夢叶くん
(下野)
あさひ野小学校 6年

ぼくの将来の夢は、サッカー選手になることです。なぜかというと、サッカーが好きだからです。足だけでプレーするサッカーにみ力を感じます。家で自主練習やスポーツの練習にはげみたいと思います。



なんぼ まお
南保 真央さん
(桜町)
さみさと小学校 6年

私の将来の夢は、保育士になることです。小さな子どもと接することが好きで、いつしよに遊んでいるとても楽しい気持ちになるからです。小さい子どもたちと接することで、やさしい気持ちや親切な気持ちになることができるから保育士になりたいと思いました。

☆はがきに答えの記号、住所、氏名を書き11月16日(木)(当日消印有効)まで〒939-0793役場企画調整課へお送りください。正解者の中から抽選で3名に図書カードをプレゼントします。

応募方法

A. 7 B. 8 C. 9

10月〇日「土偶の日」

③気分は縄文人！みんなでコスプレを楽しみました☆

A. 千葉 B. 埼玉 C. 神奈川

校「民泊」

②高校生が2泊3日で朝日町を満喫！〇〇県立相模向陽館高

校「民泊」

①町内〇〇箇所の事業所でいろ

んな仕事を☆「14歳の挑戦」

A. 18 B. 28 C. 38

①町内〇〇箇所の事業所でいろ

んな仕事を☆「14歳の挑戦」

A. 18 B. 28 C. 38

①町内〇〇箇所の事業所でいろ

んな仕事を☆「14歳の挑戦」

A. 18 B. 28 C. 38

①町内〇〇箇所の事業所でいろ

んな仕事を☆「14歳の挑戦」

A. 18 B. 28 C. 38

①町内〇〇箇所の事業所でいろ

んな仕事を☆「14歳の挑戦」

A. 18 B. 28 C. 38

あさひ かわ ら版

11月 霜月

野菜もう一品メニュー

野菜 1人1日350gで健康生活

野菜の 味噌ミルクスープ



《作り方》

- ①じゃが芋は一口大、人参とブロッコリーの茎はイチョウ切りにする。しめじはいしづきを取って小房に分ける。ベーコンは1cmの幅に切る。
- ②鍋にオリーブオイルをひいて、ベーコン、野菜類、しめじを炒めて塩・コショウをふる(野菜類は電子レンジで柔らかくしておくとき短になります)。
- ③しんなりしてきたら、水を加えて煮る。
- ④あくを取りAと顆粒だしを加え、味を調える。

《1人分の栄養価》エネルギー 136kcal 食塩 1.0g

朝日町食生活改善推進連絡協議会

牛乳と味噌で味付けした、やさしい味のスープです。捨ててしまいがちなブロッコリーの茎を活用してみました。残り野菜を利用して大丈夫です。野菜は1人分75g



▲八重子



▲順子

“心”と“体”で学んでます☆

－朝日中学校－

14歳の挑戦

【9月25～30日】2年生92名が、町内28箇所の施設や事業所で職業を体験する「14歳の挑戦」に取り組みました。

生徒たちは、役場や病院、図書館や保育所などの町有施設をはじめ、書店やスーパー、美容室など、町内各所でさまざまな業務を体験しました。



【14歳の挑戦】

勤労生産体験活動－稲刈り－

【10月4日】小更地内の中学校田にて、3年生が5月に手植えしたもち米（新大正もち）の稲刈りを行いました。

この体験は、栽培を通して勤労と生産の喜びを知り、豊かな自然を感じることで地元の素晴らしさを学ぶことを目的としています。

生徒たちは、ぬかるんだ土に苦戦しながらも、黄金色に成長した稲穂を丁寧に刈り取りました。



【勤労生産体験活動－稲刈り－】

いのちの教室・乳幼児ふれあい体験

【10月5日】思春期を迎えた中学生が乳幼児と接することで、命の尊さ・重さを知り、家族のあり方や子育ての大切さを学ぶことを目的に「いのちの教室」の授業が3年生を対象として行われました。

授業の前半では、助産師の水井雅子氏が「生命の誕生の神秘」や「妊娠・出産の仕組み」などについて、自身の体験を交えながらわかりやすく説明しました。

その後、18組の親子を迎えて「ふれあい体験」が行われ、生徒たちは、おもちゃを使って赤ちゃんをあやしたり、お母さんに教わりながら、やさしく抱っこしたりしました。



【いのちの教室・乳幼児ふれあい体験】

気分は縄文人!?

－「土偶の日」縄文人のコスプレイベント－

【10月9日】10(ど)9(くう)の語呂合わせで「土偶の日」とされているこの日、まいぶんKANおよび不動堂遺跡にて「縄文人のコスプレイベント」が開催されました。

このイベントは、まいぶんKANおよび地域おこし協力隊の服部彩子さんが企画したものであり、初開催となる今回は町内外から親子連れ等13人が参加しました。

イベントに先立ち、学芸員の川端典子さんが「土偶と縄文時代」について解説しました。それから、実際

にコスプレ衣装の製作や縄文アクセサリーづくりに取り組みました。

その後、参加者は思い思いに顔にペインティングを施し、不動堂遺跡に移動。みんな揃って特製団子を美味しくいただきました。



いつでも遊びに来てください☆

ー相模向陽館高校 民泊ー

【9月27～29日】神奈川県立相模向陽館高校の3年生61人が、農山漁村での暮らし交流体験を取り入れた体験型修学旅行「民泊」で朝日町を訪れました。

町では、これまで民泊では大阪からの中学生等の受け入れを行いましたが、今回は「関東方面」「高校生」「2泊の日程」と、“初めてづくし”の受け入れとなりました。

初日、生徒たちは朝日町に到着し、宮崎漁港での「釣り体験＆魚さばき」や「ヒスイ探し」などの自然体験を、2日目には、各受入家庭の考えたオリジナルプログラムを体験しました。

生徒たちは、都会の生活では普段できない体験を通し、自然豊かな朝日町の魅力を存分に堪能しました。



楽しい楽しい秋祭り

ーオータムフェスタ in 五叉路ー



【10月15日】五叉路クロスファイブをメイン会場に、「オータムフェスタ in 五叉路・わくわく子ども縁日」が開催されました。



会場では、昨年大好評だったあさひ担い手ネットによる「ジャンボパエリア」のふるまいがあったほか、地域おこし協力隊の「わたがし」ブースは、たくさんの親子連れで賑わいました。



特設ステージでは、ダンスや吹奏楽の演奏など、さまざまな企画が行われ、子どもから大人まで、みんな一緒に楽しい時間を過ごしました。

“朝日町の味”に舌鼓

ーヒスイ海岸タラ汁まつりー

【10月8日】朝日町の秋の風物詩、「タラ汁まつり」が宮崎漁港の「みやのさきはし」下にて開催され、今年も家族連れなどの多くの来場者で賑わいました。

会場では、カニや干物をはじめ地元の特産品等の各種出店があったほか、名物「タラ汁」を求めて大鍋の周りに来場者の列がずらりと並びました。

また、特設ステージでは「おじさんバンド」によるライブやゲーム大会が催され、会場は大いに盛り上がりました。



お知らせ 女性の人権ホットライン 〈無料電話相談〉

お悩みの方はお気軽にお電話ください（相談は無料ですが、通話料はご負担願います）。

期間

11月13日(月)～19日(日) 午前8時30分～午後7時
(土・日は午前10時～午後5時)

相談内容 夫・パートナーからの暴力、職場等におけるセクハラ、ストーカー行為など

相談受付 ☎0570-070-810

問い合わせ 富山地方方法務局人権擁護課
(☎076-441-0550)

お知らせ 税に関するお知らせ

●給与所得者に係る年末調整説明会を開催します

月 日	時 間	開催場所
11月17日(金)	午後2時～4時	黒部市国際文化センター コラレ

●事業者向け消費税軽減税率制度説明会

平成31年10月の消費税率引き上げと同時に軽減税率制度が実施されます。事業者のみなさんは、取扱商品の適用税率の確認や適用税率ごとの区分経理などの対応が必要となります。

説明会では、軽減税率制度の概要や制度対応に係る支援制度などをテーマとしておりますので、是非、ご参加ください。

月 日	時 間	開催場所
11月7日(火)	午前10時～11時 午後2時～3時	魚津合同庁舎 5階会議室
11月8日(水)	午前10時～11時 午後2時～3時	

問い合わせ 魚津税務署 法人課税第一部門
☎24-4934

●税を考える週間 テーマ「くらしを支える税」

町では、「税を考える週間」として定められた毎年11月11日から17日に合わせて、「税についての作品展」を開催します。

会期 11月9日(木)～14日(火)

会場 あさひコミュニティホール アゼリア 1階ロビー

内容 町内小学5年生の書道作品の展示

同時開催 小中学生の防火ポスター展

募集 町営住宅空室状況

町営住宅の入居者を募集します

・向陽町団地 — 3戸

・旭ヶ丘団地 — 9戸

公募期間 11月15日(水)午後5時15分まで（ただし土曜・日曜・祝日は除く）入居資格や申込方法などのお問い合わせは、建設課（☎役場内線216）

募集 朝日町職員を募集します！

募集職種	募集人員	年齢要件
◆訪問看護師	1名程度	S42.4.2以降生まれ
◆初級行政職 (有害鳥獣対策)	1名	S52.4.2以降生まれ

受験資格

訪問看護師：当該免許を有する方または平成30年3月までに取得見込みの方

初級行政職（有害鳥獣対策）：高校以上の学校を卒業した方で、公的機関、民間企業等において、有害鳥獣被害の防除技術に関する研究、有害鳥獣被害防止対策の業務経験のある方で第1種銃猟免許を有する方

採用時期 平成30年4月（ただし、訪問看護師は、平成29年度中の採用可）

試験期日 平成29年12月9日(土)

募集職種	募集人員	年齢要件
◆看護師・准看護師	10名程度	S42.4.2以降生まれ
◆薬剤師	1名程度	S52.4.2以降生まれ
◆介護福祉士	若干名	S52.4.2以降生まれ

受験資格 当該免許を有する方または平成30年3月までに取得見込みの方

採用時期 平成30年4月（ただし、有資格者については、平成29年度中の採用可）

試験期日 平成29年12月9日(土)または10日(日)

試験場所 朝日町役場

試験内容 面接試験、教養試験、適性検査、作文試験

受付締切 平成29年11月24日(金)必着

受験手続き 受験申込用紙は、総務政策課で配布するほか、町のホームページからダウンロードできます。

申し込み・問い合わせ 総務政策課人事係
(☎役場内線221)

お知らせ 年金だより

～11(いい)月30(みらい)日は「年金の日」です～

厚生労働省では、「国民の一人お一人、“ねんきんネット”等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、11(いい)月30(みらい)日を「年金の日」としました。

この機会に、「年金定期便」や「ねんきんネット」で、ご自身の年金記録と年金受給見込額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」をご利用いただくと、いつでもご自身の年金記録を確認できるほか、将来の年金受給見込額について、ご自身の年金記録を基に様々なパターンの試算をすることもできます。

「ねんきんネット」については、日本年金機構のホームページでご確認いただくか、魚津年金事務所にお問い合わせください。(☎24-5153)

納期のお知らせ 「固定資産税（3期）」「国民健康保険税（5期）」の納期が11月30日(木)となっています。
納め忘れのないようお願いします。

お知らせ 秋季全国火災予防運動

運動期間 11月9日(木)～11月15日(水)

全国統一防火標語

「火の用心 ことばを形に 習慣に」

これから寒い季節を迎え、火災が発生しやすくなります。火災を起こさないよう、十分注意しましょう。

【住宅防火 命を守る 7つのポイント】

● **3つの習慣** ①寝たばこは、絶対やめる ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する ③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

● **4つの対策** ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する ②寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

◎小中学生の防火ポスター展

場所 あさひコミュニティホール アゼリア 1階ロビー

期間 11月9日(木)～11月14日(火)

問い合わせ 朝日消防署予防係 (☎83-0009)

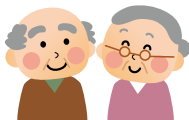
お知らせ 認知症初期集中支援チーム

認知症になっても地域の中で安心して生活ができるように認知症初期集中支援チームが、活動をはじめています。(平成28年12月から)

認知症初期集中支援チームとは、認知症の早期発見と対応を目的としたチームです。認知症サポート医と地域ケア係(地域包括支援センター)の保健福祉専門職が対応します。

こんな仕事をしています！

認知症またはその疑いのある方およびご家族を訪問し、受診勧奨、家族サポートなどを包括的・集中的に行います。



対象となる方

40歳以上の自宅で生活をしている認知症や認知症が疑われる方

①認知症の診断を受けていない方、治療を中断している方

②医療や介護保険サービスを利用していない方 等

問い合わせ 健康課地域ケア係 (☎役場内線170)

お知らせ 黒東合口用水路が一定期間断水します

用水路内の点検・工事のため、黒東合口用水路が以下の期間断水します。火の元には十分ご注意ください。

期間

11月20日(月)午前9時～12月1日(金)午後5時

断水地域 町内全域

問い合わせ 北陸電力魚津電力部 (☎24-6285)

催し 黒部川減災対策シンポジウム

日時 平成29年11月26日(日)

午後1時～4時20分

会場 黒部市国際文化センター コラーレ

内容 ・黒部川で発生した災害の振り返り(ビデオ上映)
・基調講演 ・防災教育「学び」レポート
・パネルディスカッション
「災害を振り返り、今、何ができるか」

問い合わせ 黒部川等大規模氾濫に関する減災対策協議会事務局 ☎52-4686

募集 平成30年度 ごみ指定袋への広告掲載募集

種類	家庭用もやせる ごみ袋(大)	家庭用もやせない ごみ袋(大)
枚数	約200万枚	約150万枚
料金	20万円(1枠)	15万円(1枠)
枠数	2枠	2枠
大きさ	縦80mm×横400mm(1枠)	

※デザインについてはご希望に添えない場合があります。

募集締切 12月26日(火)

問い合わせ 新川広域圏事務組合 (☎23-1074)

URL <http://www.niikawa.or.jp/>

催し ハローワーク魚津・滑川 人材マッチングフェア

求人企業約40社を一堂に集めた人材マッチングフェア(合同就職面接会)を開催します。就職をご希望の方ならどなたでも参加できます。複数の企業に直接自分をアピールできるチャンスですので、ぜひ、ご参加ください。

日時 11月13日(月) 午後1時30分～4時

(受付は午後1時から開始)

場所 新川文化ホール2階展示ホール

問い合わせ ハローワーク魚津 (☎24-0365)

インフルエンザ予防接種を受けましょう

インフルエンザは毎年冬から春にかけて流行します。感染すると高熱、鼻水、咳、全身倦怠感などの症状がでます。

予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5か月間とされています。より効果的に有効性を高めるためには、毎年インフルエンザが流行する前の12月中旬までに接種を受けておくことをお勧めします。

高齢者インフルエンザ予防接種

- 対象者
朝日町に住所を有する
 - ①65歳以上の方
 - ②60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する方およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方（身体障害者手帳1級相当）
- 接種回数 1回
- 自己負担額 1,200円
(ただし、生活保護受給者は無料)
- 接種期間 11月1日(水)～12月28日(木)
- 接種券の発行
対象者の方へは、10月下旬に「高齢者インフルエンザ予防接種予診票兼接種券」を個別に発送いたしました。また、接種期間中に65歳を迎える方は、順次個別にてご案内いたします。

町では
予防接種費用の
一部を助成します

小児インフルエンザ予防接種

- 対象者 朝日町に住所を有する生後6か月～高校3年生相当の方
- 接種回数 2回（ただし13歳以上は1回）
- 自己負担額 1,000円
- 接種期間 11月1日(水)～12月28日(木)
- 受け方 希望する指定医療機関で接種を受けてください。（接種券は各指定医療機関にあります。）
- 持ち物 **健康保険証をご持参ください。**
(小児インフルエンザ予防接種の対象者であることを確認するために必要です。)

●指定医療機関一覧

	小児インフルエンザ	高齢者インフルエンザ
あさひ総合病院 ☎83-1160	いずれも接種可能 【接種日】 土、日曜日、祝日、休診日を除く通常の診療時間 ※事前に病院へ連絡してください。	
坂東病院 ☎83-2299	いずれも接種可能 【接種日】 通常の診療時間（日曜日、祝日は午前中のみ）	
島谷クリニック ☎83-2225	いずれも接種可能（注意：1歳6か月以上が対象です） 【接種日】 日曜日、祝日、休診日を除く通常の診療時間	
中川医院 ☎82-0120	いずれも接種可能（注意：1歳以上が対象です） 【接種日】 月、水、土曜日の通常の診察時間	

ご不明な点や詳細については、保健センターまでお問い合わせください。（☎83-3309）

募集

平成30年度保育所入所申込受付案内 ～受付期間は11月6日(月)～14日(火)です～

平成30年度の保育所入所申し込みを受け付けます。お住まいに関係なく、どこの保育所でも入所できますが、申し込み状況によっては、希望する保育所に入所できない場合があります。

受付期間 11月6日(月)～14日(火)

受付場所 ひまわり幼児園、さくら保育園、いちご保育園

【保育所別保育内容】

保育所名	保育時間		特別保育などの実施			
	平日	土曜日	平日延長	土曜延長	乳児	障害児
ひまわり幼児園 さくら保育園 いちご保育園	8:30～16:30	8:30～12:30	7:00～ 8:30 16:30～21:00	7:00～ 8:30 16:30～18:00	実施	実施

・入所申込書類は、各保育所および役場住民・子ども課で11月1日(水)からお渡しします。

・年度途中の入所を希望される方も申し込み手続きをしてください。

☆入所申し込みを受け付ける際、親子面談を行います。お子さんと一緒に各保育所へお越しください。
問い合わせ 住民・子ども課 (☎役場内線159)

虐待かもと思ったら
すぐにお電話を！



- 富山児童相談所 ☎076-423-4000
- 朝日町役場 住民・子ども課(児童相談窓口) ☎役場内線155、157

◆児童虐待とは…
殴る、蹴る、激しく揺さぶるなどの「身体的虐待」、子どもへの性的行為などの「性的虐待」、家に閉じ込める、食事を与えないなどの「ネグレクト」、言葉による脅し、無視、兄弟間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるうなどの「心理的虐待」の総称です。

11月は児童虐待防止推進月間

児童虐待に関する相談対応件数は増加傾向にあり、子どもの生命が奪われるなどの深刻な事件が後を絶ちません。法律により、虐待を受けたと思われる児童を発見した場合には、児童相談所、市町村に通告しなければならぬこととされています(児童虐待防止法第6条)。また、虐待発生予防として、出産や子育てに悩んでおられる家庭からの相談も受けておりますので、児童相談所、市町村の相談窓口にご相談ください。(匿名可)

まいぶんKAN 開館10周年記念 体験教室

明治記念館の壁の中に
眠っていた古文書
「下張り文書」
はがしを体験しよう！

明治記念館の壁紙の下張りに、江戸後期～明治前期の朝日町や周辺地域に関する古文書が使われていたことが分かりました。今回、この貴重な史料を使って建築の枠材から古文書をはがす「下張りはがし」の体験を行います。古文書が読めなくても大丈夫です！ぜひご参加ください。

《明治記念館とは》

明治天皇をお迎えするために、明治11年に加賀藩十村役を務めた伊東家(十一代当主伊東祐明)が建てました。

《下張り文書とは》

昔は襖や屏風の下張りにいらなくなった紙を使っていました。ここから古い時代の古文書が見つかることがあります。当時の人には不要な紙でも、現代のわれわれには貴重な史料となる



▲5月に行われた作業の様子

かもしれません。細かい作業がありますが、ゆっくり根気よく取り組みます。
日時：平成29年11月25日(土)、26日(日) ※1日だけの参加もOK 各日午前10時～午後4時頃(お昼休憩あり)
場所：朝日町図書館会議室(沼保969)
定員：各日10名(応募多数の場合抽選)
参加費：無料
持ち物・服装：汚れてもいい服装、昼食
講師：石川県文化財保存修復協会文化財修復士 梶青華さん、他
申込締切：11月18日(土)
申込先：まいぶんKAN ☎83-0118

スポーツ

▼朝日バドミントン祭

(8月20日 サンリーナ)

個人戦 男子複1部

1位 水野泰弘、阿部智行

2位 坂口和志、藤田稜也

男子複2部

1位 山田祐久、土居真希人

2位 坂藤拓磨、伊藤輝

女子複1部

1位 杉本寿美栄、杉本麗奈

2位 坂口佳余子、藤田久美子

女子複2部

1位 田村美田紀、青木千代美

2位 横田海潤、不破あさひ

▼朝日ローンテニス大会

(8月20日 サンリーナ)

男子ダブルス

優勝 坂藤世一、吉井優平

次勝 川上勝之、坂藤亮智

▼第19朝日町地区対抗ゴルフ大会

(9月3日 棚山ゴルフ倶楽部)

優勝 五箇庄A

2位 大家庄A

3位 宮崎

▼新川地区中学校新人大会

(9月16日、17日)

柔道

男子団体

1位 朝日中学校

男子個人

60 kg級 1位 澤井星波

66 kg級 1位 木戸悠貴

73 kg級 2位 久保風音

73 kg級 1位 若林一輝

81 kg級 2位 上ノ賢心

81 kg級 1位 浦田繁也

90 kg級 2位 稲垣伶

90 kg級 1位 水野翔

90 kg超級 1位 小川哲太

陸上競技

女子

総合の部 2位 朝日中学校

共通走幅跳 1位 水島楓

共通走高跳 1位 増本朱莉

共通砲丸投 2位 國枝環

剣道

女子個人 1位 田島楓

ソフトテニス

女子団体 1位 朝日中学校

個人

2位 廣川真夕、水島こころ

▼下新川郡中学校秋季競技大会

(9月23日、24日)

柔道

男子団体 1位 朝日中学校

男子個人

50 kg級 1位 開澤莉生

60 kg級 1位 澤井星波

66 kg級 1位 木戸悠貴

73 kg級 2位 久保風音

73 kg級 1位 若林一輝

81 kg級 2位 久保海音

81 kg級 1位 水野翔

90 kg超級 2位 浦田繁也

90 kg超級 1位 小川哲太

バドミントン

男子団体 2位 朝日中学校

男子単 2位 吉野和希

卓球

男子団体 2位 朝日中学校

男子個人 1位 由井大亮

2位 由井健亮

ソフトテニス

団体 1位 朝日中学校

個人

1位 吉井ひかり 廣田紗和

2位 水島こころ 廣川真夕

剣道

男子団体 2位 朝日中学校

女子団体 1位 朝日中学校

女子個人 1位 平田琴美

2位 清水さくら

野球

2位 朝日中学校

バスケットボール

男子 2位 朝日中学校

女子 2位 朝日中学校

第4回小学生親子料理コンクール
「我が家の自慢料理」審査会

【9月24日】食生活改善推進連協協議会主催のもと、第4回小学生親子の料理コンクールの審査会が開催されました。

どの親子も真剣な眼差しで調理に取り組み、アイディアあふれる我が家の自慢料理を披露しました。



審査結果

- ◆最優秀賞「わが家のエコご飯」
さみさと小学校3年2組 仙名 一護さん
- ◆優秀賞「野菜たっぷりサクサクピザ」
さみさと小学校5年1組 水島 嘉栄さん
- ◆優良賞「朝日町の特産を使用したスマイルご飯」
あさひ野小学校2年 島田 日芽美さん
- ◆アイディア賞
「魚のチーズと大葉のフライ＆フルーツポンチ」
さみさと小学校3年1組 青島 帆風さん
- ◆アイディア賞
「夏野菜たっぷりメキシカン風味のオープンオムレツ」
あさひ野小学校5年 井口 珠花さん
- ◆アットホーム賞
「三世代ニコニコパワーオムレツ」
さみさと小学校2年1組 松本 麗子さん
- ◆アットホーム賞「ロス野菜で作る蒸しパン」
さみさと小学校2年2組 水島 萌華さん

11月のスポーツ行事予定

- 子どもビーチ in ASAHI
4日(土) サンリーナ 第2体育室
 - 町民駅伝大会
5日(日) 町内一円 サンリーナ 第2体育室
 - パークゴルフ 第4回レディースの集い
5日(日) あさひヒスイ海岸パークゴルフ場
 - 秋季お楽しみビーチボール大会
9日(木)、10日(金) サンリーナ 第1体育室 夜間
 - 新川地区高等学校バレーボール大会
11日(土) サンリーナ 第2体育室
 - 町民バドミントン交流大会
12日(日) サンリーナ 第1体育室
 - U-6・8サッカー教室
12日(日) サンリーナ 第2体育室
 - 朝日ローンテニス大会
12日(日) サンリーナ テニスコート
 - パークゴルフ 平成29年グランドチャンピオン
12日(日) あさひヒスイ海岸パークゴルフ場
 - 町民柔道大会
23日(木・祝) 南茂道場
 - にこにこスポーツ広場
25日(土) サンリーナ 第1体育室
 - 町民バレーボール大会
26日(日) サンリーナ 第2体育室
 - 全日本クラブバスケットボール選手権大会富山県大会
26日(日) サンリーナ 第1体育室
 - パークゴルフ 平成29年打ち納め交流会兼第3回紋左杯
30日(日) あさひヒスイ海岸パークゴルフ場
- ※日程は変更になる場合があります。

毎月第3日曜日を「家族を思いやる日」に
〈今月のテーマ〉
『らしさを見直そう!』

思いやりいっぱいの日になりますように…
☆家庭から目指す男女共同参画社会

男女共同参画推進員朝日町連絡会
会長 谷 和 寛



あさひ日和



10月12日、鹿熊県議と共に石井知事と高校再編に関して面談しました。高校再編におけるこれまでの進め方は余りにも乱暴で一方的であると苦言を呈し、町の思いをまとめた書面を手渡しました。

面談では、「知事は9月定例議会において、高校再編が県PTA連合会『9万人の総意』と答弁されましたが、事実とは異なる」、また「町民の思いが、県教育委員会の言う『貴重なご意見』として全く活かされていない」ということを申し述べました。「県PTA連合会の『県立高校再編に関する要望』についても、本意ではなく、教育委員会がそうするようにさせたのではないかと」疑問や違和感を抱いています。

私たちは、高校再編に反対しているわけではありません。県は、「高校を無くすのであればこうしていこう」「今後、地方をこのように運営していくべき」といったビジョンを明確にし、地方創生の観点から知恵を絞っていくことが不可欠です。将来像が何も見えない中で、再編の対象校のみを選定するのではなく、対象校を示す前に、地域のあり方、ビジョンを踏まえながら、筋道を通してしっかりと議論を重ね、段階を踏むべきだと考えています。

この再編論は、当初から誰が見ても「泊高校が再編対象」と感じるような進め方であり、再編対象外の地域にとっては「対岸の火事」であり、無関心なものとなっています。知事には現場を把握され、真摯に議論を重ねるよう、改めて教育委員会および関係部局に指示していただきたいと思います。

私は、「政治家は常に先を見ていかねばならない」と考えています。今後は“政治家・石井知事”として自ら判断されるものと強く期待しております。そして、地域の活性化に関して明確なシミュレーションを示し、ぜひ、町と共に知恵を出し合い、未来を見据えながら、最善の手を打っていただきたいと切に願っています。

面談は15分程度を予定していましたが、大幅に延長し、50分近くになりました。高校再編については、これからも粘り強く議論してまいりたいと思っています。

朝日町長 笹原靖直 【10月16日記】

防災行政無線チャイムが鳴り、放送を終了します。
問い合わせ 総務政策課総務管理係（☎役場内線226）

「これは「アラート」のテストです。」 ※3回繰り返し
試験の方法 防災行政無線およびラジオ付戸別受信機から、次のとおり一斉放送されます。

緊急時とお間違えのないようお願いいたします。
試験の方法 防災行政無線およびラジオ付戸別受信機から、次のとおり一斉放送されます。当日は、試験放送が流れますので、伝達訓練が行われます。伝達訓練が行われます。当日は、試験放送が流れますので、伝達訓練が行われます。

11月14日(火) 午前11時ころ
地震・津波や武力攻撃など対処に時間的余裕のない事態の発生時に備え、情報伝達訓練を行います。この訓練は、全国瞬時警報システム（Jアラート）を用いた訓練で、朝日町以外の地域でも様々な手段を用いて情報伝達訓練が行われます。当日は、試験放送が流れますので、伝達訓練が行われます。

中高連携推進事業

教育講演会

- ◆日時 平成29年11月15日(水)
午後3時30分～5時30分
※入場無料
- ◆場所 朝日町文化体育センター
サンリーナ
- ◆講師 プロフィギュアスケーター
鈴木 明子 氏
- ◆演題 「ひとつひとつ。少しずつ。
～自分らしく前へすすむ～」

◎スリッパ等、内履きをご持参ください。

- ◆問い合わせ 教育委員会（☎役場内線313）

鈴木明子氏の講演のほか朝日中学校、泊高等学校から活動報告があります。中高連携の取り組みを広く知っていただくため、多くの方々のご参加をお待ちしております。



内閣総理大臣杯第34回全日本世代交流ゲートボール大会において、富山県代表として朝日町の「たんぽぽ」チームが参加し、予選トーナメント戦3位と健闘し、全国の皆さんと交流を深めました。

ゲートボール



集まれ！スポーツ仲間



ある全国大会でした。

朝日町では、左記の場所等でゲートボールを好きな仲間が集まって和気あいあいと楽しく活動しています。興味のある方、一緒にゲートボールを楽しんでみませんか？

活動日…毎週水・土曜日

活動時間…午後1時～3時30分

活動場所…さ、郷グラウンド

活動日…毎週火・木・土曜日

活動時間…

午後1時30分～3時30分

活動場所…朝日町老人福祉センター

ゲートボール場

対象…どなたでも

問い合わせ…朝日町教育委員会

☎83-1100

（役場内線322）



第2・第4日曜日は
ドッグランの日!

あさひシーサイドドッグランで、
愛犬と一緒に走りませんか。

年内もあと3回になりました。町外
からも毎回たくさんのわんちゃんが来てい
ますよ。見学も大歓迎です!「うちの子初め
てだけど、大丈夫かな?」という方も、安
心して遊びに来てください。



■日時 11月12日(日) 午前10時～午後1時
11月26日(日) 午前10時～午後2時
(最終受付は終了30分前)

■協力金 1頭500円 2頭目以降～300円

■場所 朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場東側

※1年以内に狂犬病・混合ワクチン接種していること。

■問い合わせ

地域おこし協力隊 池田 (☎役場内線263)

開催情報は、

ホームページを見てね!

あさひシーサイドドッグラン



CRAFT あさひ

一堂の気持ちー

全国各地から約50組のクラフト作家がなないろKAN
に集結!世界でたったひとつのオリジナルアイテムをお
求めください☆

体験コーナーや飲食ブースもあります。

日時: 11月4日(土) 午前10時～午後4時

5日(日) 午前9時30分～午後3時30分

場所: なないろKANおよび歴史公園

主催: たなごころの気持ち実行委員会

出店ジャンル:

ガラス、陶磁器、木工、金工、革、染色 など



は！
8月より、朝日町の地域おこ
し協力隊になりました中村彩乃
です。兵庫県西宮市から移住し
ました。現在は、舟川新で暮ら
し、農事組合法人ふながわでお
世話になっております。
今まで農業の経験がなく、組
合での仕事は、周りの人たちの
足を引っ張っている状況です
が、一つ一つの作業が私には目
新しく、興味深いものばかりで
す。作業中も思わず写真を撮っ
てしまします。一緒に働くふな
がわの人たち、集落の人たち、
みんな本当にいい表情で、いい
写真ばかり撮れます。そこで、
これらの写真をもっと多くの
人に見てもらいたい、また、ふな
がわのお米を注文してくださ

朝日町のみなさま、こんにち
は！
8月より、朝日町の地域おこ
し協力隊になりました中村彩乃
です。兵庫県西宮市から移住し
ました。現在は、舟川新で暮ら
し、農事組合法人ふながわでお
世話になっております。
今まで農業の経験がなく、組
合での仕事は、周りの人たちの
足を引っ張っている状況です
が、一つ一つの作業が私には目
新しく、興味深いものばかりで
す。作業中も思わず写真を撮っ
てしまします。一緒に働くふな
がわの人たち、集落の人たち、
みんな本当にいい表情で、いい
写真ばかり撮れます。そこで、
これらの写真をもっと多くの
人に見てもらいたい、また、ふな
がわのお米を注文してくださ



～町長交際費を公開します～

項 目	平29.7.1～平29.9.30		平成29年度累計	
	件数	支出金額 (円)	件数	支出金額 (円)
祝儀・寸志	19	164,730	53	628,378
香典・生花・見舞	8	60,000	12	80,000
土産・贈答				
負担金・会費	7	98,525	15	175,525
懇談会	2	40,810	4	65,682
饗別・激励・協賛金	5	55,000	7	65,000
その他				
合 計	41	419,065	91	1,014,585

～教育長交際費を公開します～

項 目	平29.7.1～平29.9.30		平成29年度累計	
	件数	支出金額 (円)	件数	支出金額 (円)
祝儀・寸志				
香典・生花・見舞	3	15,000	5	25,000
土産・贈答				
負担金・会費			1	10,000
懇談会				
饗別・激励・協賛金				
その他				
合 計	3	15,000	6	35,000

た人たちに、生産者の姿を知っ
てもらいたいと思い、「ふなが
わの里だより」を作成し、お米
と一緒に送ってもらうようにし
ました。さらには、これらの写
真をまとめて、いつか写真集を
制作したいと本気で企んでいま
す。私には、今や北アルプスの
雄大な姿より、朝日町の人々の
姿の方がおもしろい!みなさ
ま、ご協力をお願いします!



医療の現場から



あさひ総合病院 内科
(富山大学附属病院)
清水 洋介
医師

人生の3分の1は●●

はじめまして。今年度より、週1回あさひ総合病院内科外来に勤務している清水です。今月は不眠についてです。眠れない原因には①身体的、②眠る前の習慣、③精神的なストレスなどがあります。体の問題として、夜間頻尿や、肺や心臓の病気、内服薬が原因のこともあります。うつ病や不安障害があるなら、それに対する薬が必要です。寝る前にテレビをみたり、スマホをいじっていたりすることで目が冴えてしまうこともあります。夜にお酒を飲むと、よく眠れるようですが、睡眠の質は確実に低下します。眠れないこと自体がストレスになっているなら、「無理に寝なくても良い」と考えを変えていくことも必要です。実は、頑張っても眠れることはありません。頑張れば頑張るほど頭は冴えてしまうからです。

睡眠薬を処方されている方はとても沢山いますが、依存症と耐性と言って、長期間飲み続けていると、飲まないと眠れない、今までの量では眠れなくなることがあります。なので、必要な時だけ飲むといった使い方が適切です。ただ、すでに睡眠薬を飲んでいらっしゃる方は、自己判断で中止するのではなく、医師と一緒に原因を探しながら減量、中止していきましょう。是非、かかりつけの医師に相談してみてください。

功績を讃えて

2017アジアベンチプレス選手権大会

(フィリピン)



男子66kg級 マスターズ I

【優勝】 記録：187.5kg

チーム度肝

芦崎 高志 さん (西三浦町)

平成29年度 全国生涯スポーツ優良団体表彰

(文部科学省)



【生涯スポーツ優良団体(クラブ)】

泊サンフラワーズ (加藤優志監督)

◆ あなたの本箱 ◆

朝日町図書館 ☎ 83-0574

《新しい本》

『消えてたまるか! 朝日町』

記者の役場体験記

浜松 聖樹 著



北日本新聞社編集局の浜松記者が、8カ月半にわたる「公務員生活」を経て書き上げたノンフィクション作品。

人口減少の進む朝日町の現状と、その中にある「光」を独自の目線から表現している。



《本の紹介》

『ヒストリア』

池上永一 著

第二次世界大戦の沖縄で家族を失い、魂(マブイ)を落としてしまった知花煉。一時の成功を収めるも米軍のお尋ね者となり、ポリビアへと逃亡。数々の



● 絵本の読み聞かせ会のお知らせ
日 時 ① 11月4日(土)
② 11月18日(土)

場 所 図書館 おはなしのへや
読み手 ① 朝日町読み聞かせグループ
② 泊高校舞台芸術部

● 折り紙教室
日 時 11月11日(土)
午後1時30分～3時

図書館の会議室で行っています。どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越しください。

11月 お知らせカレンダー

11月	行 事 名	時 間	場 所
15 (水)	年金相談	10:00～15:00 (8:30～14:30 (受付))	朝日町役場
	●ふれあい（若年性認知症）カフェ	13:30～15:00	五叉路クロスファイト
16 (木)	●法律相談(予約制)※	14:30～17:00	五叉路クロスファイト
	●はつらつ健康サロン	9:30～10:30	老人福祉センター
17 (金)	●なかよし広場「保育の出前」	10:00～11:30	支援ひまわり・いちご
	●認知症コミュニティ「ひすいカフェ」	14:00～16:00	あさひ総合病院地域医療推進室
18 (土)	●あさひ生涯学習フェスティバル（～19日）	9:00～16:30	サンリーナ
19 (日)	●あさひ芸能文化祭	12:30～	サンリーナ
20 (月)	●健康体操教室、健康相談	9:30～11:30	保健センター
21 (火)	●4か月児健診	13:00～13:30 (受付)	保健センター
	●育児講座「音楽コンサート」	10:00～11:30	支援いちご
	●家庭児童相談、母子・父子相談、行政相談、 人権なやみごと相談	13:30～16:00	五叉路クロスファイト
22 (水)			
23 (木)			
24 (金)			
25 (土)			
26 (日)	●映画「うまれる」上映会（社会福祉協議会）	10:00～13:00	五叉路クロスファイト
27 (月)	●健康体操教室、健康相談	9:30～11:30	保健センター
28 (火)	●心配ごと相談	13:30～16:00	五叉路クロスファイト
29 (水)			
30 (木)	●はつらつ健康サロン	9:30～10:30	老人福祉センター
12月	行 事 名	時 間	場 所
1 (金)	●オレンジカフェほっとあいりす	13:30～15:30	シルバー人材センター
2 (土)	●朝日町再生会議講演会（別途案内）	15:00～	五叉路クロスファイト
7 (木)	●1歳6か月児健診	13:00～13:30 (受付)	保健センター
	●2回目フッ素塗布	13:00～13:15 (受付)	
	●3回目フッ素塗布	13:00～13:30 (受付)	
9 (土)	●もうすぐパパママ教室	10:00～12:00 (9:45～ (受付))	保健センター

第38回朝日町美術展 公開のお知らせ

期間

11月2日(木)～5日(日)

会場 アゼリアホール

一般公募作品の中から
選ばれた町展大賞などの
入賞作品をはじめ、見応
えのある作品をたくさん
展示しておりますので、
ぜひご来場ください。

◎同時開催

朝日町小中学校美術展
問い合わせ
朝日町美術展実行委員会
事務局 (☎83-1838)

●子育て支援センターに集まれ！

●なかよし広場

対象 保育所入所前の乳幼児
およびそのご家族

●赤ちゃん広場

講師 助産師 水井雅子氏
対象 1歳未満の乳児と
そのご家族および妊産婦
※バスタオル持参のこと

●育児講座

「音楽コンサート」
音楽教室「きてい・みゅーじっくるーむ」
主宰 中島 美奈氏
対象 子育て中の方およびそのご家族
または育児に関心のある方

子育て支援センター

♡ひまわり幼児園 ☎82-2288

♡いちご保育園 ☎83-3716

11月の休日当番医

診療時間：午前9時～午後5時
(正午から午後1時を除く)

日付(曜)	救急診療当番医	歯科在宅当番医(新川地区)
3日(祝)	坂東病院 (☎83-2299)	渡辺歯科医院 (黒部市・☎0765-52-0164)
5日(日)		堀川歯科医院 (黒部市・☎0765-54-1182)
12日(日)		清田歯科医院 (黒部市・☎0765-57-2800)
19日(日)		前田歯科クリニック (黒部市・☎0765-57-2525)
23日(祝)		島田歯科医院 (黒部市・☎0765-52-0167)
26日(日)		みどり歯科医院 (黒部市・☎0765-54-5775)

■教育相談 受付時間(月～金曜日) 8:30～17:00 教育センター ☎82-1000

■子育て相談 受付時間(月～金曜日) 8:30～17:00 保健センター ☎83-1920

■障がい者の生活相談 受付時間(随時) 新川むつみ園 ☎78-1140

■介護相談 受付時間(月～金曜日) 8:30～17:00 健康課内地域包括支援センター ☎83-1100

11月	行 事 名	時 間	場 所
1 (水)			
2 (木)	● 3歳児健診 ● 4回目フッ素塗布 ● はつらつ健康サロン	13:00～13:20 (受付) 13:00～13:15 (受付) 9:30～10:30	保健センター 老人福祉センター
3 (金)			
4 (土)	● CRAFTあさひー掌の気持ちー(～5日)(⇒26P)	10:00～16:00	なないろKAN
5 (日)			
6 (月)	● 健康体操教室、健康相談 にこにこ相談会(子どもの教育等相談) ● 心の健康相談	9:30～11:30 14:00～ 15:00～(要予約)	保健センター 新川厚生センター
7 (火)	● 10～11か月児健診 ● 心配ごと相談	13:00～13:30 (受付) 13:30～16:00	保健センター 五叉路クロスファイブ
8 (水)	● ひきこもり等家族相談会 ● 赤ちゃん広場「ベビーマッサージ」	14:00～15:30 10:00～11:30	新川厚生センター 支援いちご
9 (木)	● はつらつ健康サロン	9:30～10:30	老人福祉センター
10 (金)	● 生活自立就労相談 ● 介護予防(まめなけ)カフェ ● オレンジカフェほっとあいりす	10:00～11:30 9:30～11:00 13:30～15:30	五叉路クロスファイブ 五叉路クロスファイブ シルバー人材センター
11 (土)			
12 (日)			
13 (月)	● 健康体操教室、健康相談	9:30～11:30	保健センター
14 (火)	● 心配ごと相談	13:30～16:00	五叉路クロスファイブ
15 (水)	● 教育講演会(⇒25P) ● もぐもぐごっくん教室	15:30～17:30 10:30～12:00 (10:00～(受付))	サンリーナ 保健センター

※予約受付先 16日(木)法律相談：社会福祉協議会

●各種イベント・行事 ●子育て(下記参照) ●健康(下記参照) ●相談(☎社会福祉協議会 ☎83-0576)

●健康インフォメーション

保健センター ☎83-3309 ※印は母子手帳持参

事業名	対象者	事業名	対象者
健康体操教室	希望される方	4か月児健診※	平成29年7月生まれ
健康相談	・健康に関すること・健診結果 ・子育てに関すること・栄養、離乳食 ・心の健康(うつ病)に関すること ・予防接種 など ※ご希望の方は、お気軽にご相談ください。 ※電話相談は随時受付します。	10～11か月児健診※	平成28年12月、平成29年1月生まれ
		1歳6か月児健診※	平成28年4月、5月生まれ
		3歳児健診※	平成26年4月、5月生まれ
		2回目フッ素塗布※	平成27年10月、11月生まれで、通知のあった方
心の健康相談 ☎新川厚生センター (☎52-2647)	・精神的な悩みをもつ人およびその家族 ・ひきこもりやアルコール問題で悩む人およびその家族 ・認知症およびその疑いのある人とその家族 ※精神科医による相談は予約制です。 ※電話相談は随時受付します。	3回目フッ素塗布※	平成27年4月、5月生まれで、通知のあった方
		4回目フッ素塗布※	平成26年8月、9月生まれで、通知のあった方
		もぐもぐごっくん教室※	離乳食を始めているお子さん(生後5か月頃～離乳食完了期まで)※1週間前までに保健センターへお申し込みください。
ひきこもり等家族相談会 (精神保健福祉士による) ☎新川厚生センター (☎52-2647)	・ひきこもりなどの問題で悩んでいる家族 ※当事者の年齢は概ね10～30歳代 ※初めての方は予約が必要です。	もうすぐパパママ教室※	妊婦さんとパパ(妊婦さんだけの参加も可能です。母子保健推進員がいますので上のお子さんも一緒にどうぞ。参加希望の方は事前にご連絡ください。)

●介護予防インフォメーション

健康課地域ケア係 ☎83-1100 (内線171・172)

行事名	対象者	概 要
介護予防(まめなけ)カフェ	概ね65歳以上の方	介護予防に関するミニ講義や脳トレをします。ご自由にご参加ください。 講師：ケア・カフェ フクロウ(福老) 萱原 泉氏 ※実費100円(茶菓代)
はつらつ健康サロン	概ね65歳以上の方	介護予防のための体操を行います。入浴と併せて一緒にご利用ください。 講師：健康運動実践指導者 西田 史子氏 ※利用料300円必要(入浴付)



なないろKAN 情報

☎83-3700
(休館日：毎週火曜日)

11月
の営業



秋の恵みに感謝して！
★なないろ朝市 感謝祭
100円市&手打ちそば特別販売
11月19日(日) 午前8時30分～

一足先にクリスマス気分♪

★ガラス工房作品 クリスマスオーナメント販売中

職人が手がけた一点物！
寒い季節を暖かく、楽しんでいただきた
いと制作しました♪



らくち~の 情報

☎82-0990
休館日は2日(木)、9日(木)

11月
の営業

〈イベント情報〉

★エコクラフト雑貨展示販売
11月6日(月)～17日(金) 2階大広間前にて開催！
小物やバッグなど素敵な物がたくさん♡お楽しみに！



〈入会金0円キャンペーン開催〉

11月、12月入会者は今がお得！
らくち~の会員の入会金 10,000円→0円!!
湯の香会員、スポーツ会員の入会金 5,000円→0円!!
ジュニアスイミング会員の入会金 5,000円→0円!!
お申し込みは 11月30日(木) まで!

アゼリアホール情報

あさひ・コミュニティホール

☎83-2000

11月
のお知らせ

- ★11月2日(木)～5日(日) 朝日町美術展 午前10時～午後7時
(5日は午後5時まで)
- ★11月9日(木) 金婚式 午前10時～11時30分
- ★11月9日(木)～14日(火) 防火ポスター展・納税書道展
午前10時～午後6時
- ★11月18日(土) バンフ・マウンテンフィルムフェスティバル
(午前10時よりロビーにて出店があります)
午後1時～Aプログラム上映 午後5時～Bプログラム上映
- ★11月23日(木・祝) 商工感謝祭 秋の味覚まつり 午前10時30分～
- ★11月27日(月) アスカ歌謡ショー 開演 午後2時～



シルバー人材センター 情報ひろば

☎83-2382

11月
のお知らせ

働ける！働きたい！高年齢の方へ

★シルバー会員になりませんか？

- ・おおむね60歳以上の健康で働く意欲のある方
- ・生きがいを求めている方
- ・地域で仲間づくりをしたい方

随時、入会説明会を行っていますので、事前に連絡をお願いします。

9月届出分

おすこやかに
(誕生日)



8/27 水野翔葵(男) 貴志 下山新
8/30 池内愛姫(女) 幸治 西下町
9/6 長津実璃(女) 芳貴 月山
9/13 松山來夢(女) 謙太郎 平柳1区
9/21 竹谷奏飛(男) 隼人 宮崎
9/25 勝田美陸(女) 大笹 川

おしあわせに



{ 平野 智浩 平柳2区
武田 佳子 富山市

ごめいふくを



西村 和穂(41) 月山
清水 磨喜子(87) 高畠
古沢 巧(67) 金山
金山 重作(94) 清水町
南茂 節子(75) 桜町
濱川 榮美子(74) 赤川
加藤 民子(93) 神田町
山岸 きぬ枝(86) 中道下
近藤 ミヨ(93) 長野
坂藤 一雄(92) 越(南保)
山本 百合枝(83) 平柳1区
谷口 タミ子(84) 陽光台
池原 金造(85) 西町

社会福祉協議会だより

ふくしの窓

事務所 朝日町泊418 (五叉路クロスファイブ2階)
 ☎83-0576 ☎83-1589
 朝日町ボランティアセンター ☎83-1002
 URL <http://asahiwel.com/>

誰もが 笑顔で 元気に暮らせる まちづくり (町社協の基本理念)

朝日町社会福祉協議会は、みなさんとともに地域の福祉向上を目指す民間社会福祉団体です。

《以下の業務も行っています》

- ・朝日町ボランティアセンター
- ・朝日町善意銀行
- ・朝日町共同募金委員会
- ・日本赤十字社朝日町分区
- ・朝日町民生委員児童委員協議会



第59回朝日町社会福祉大会

「誰もが 笑顔で 元気に暮らせる まちづくり」をめざして

10月6日、第59回朝日町社会福祉大会がアゼリアホールで開催されました。

第1部の式典では地域福祉に功績のあった方々や、朝日町社会福祉協議会ならびに朝日町善意銀行へ顕著な寄付をされた方々に、表彰状、感謝状の贈呈式等が行われました。

第2部の記念講演では、「地域包括ケア と ものがたり」と題しまして、医療法人社団ナラティブホームものがたり診療所所長の佐藤伸彦医師にご講演いただきました。砺波市において終末期医療に携わる佐藤医師のお話を、参加者の皆さんは熱心に聴き入っていました。



受賞者は次のとおりです (順不同 敬称略)

朝日町社会福祉協議会会長表彰

ボランティア活動功労

数 家 孝 子 (桜 町)

老人クラブ活動功労

兵 庫 俊 春 (境)

地域福祉活動功労

大 倉 肇 (大家庄)

朝日町善意銀行名誉理事長感謝

善意銀行賛助

濱 田 清 達 (宮 崎)

朝日ロータリークラブ

下新川郡社会福祉連絡協議会会長表彰

地域福祉活動功労

平 坂 あき子 (平柳2区)

竹 内 礼 子 (笹 川)

朝日町社会福祉協議会会長感謝

福祉事業振興寄付

鷲 明 宏 (清水町)

深 松 明 子 (笹 川)

中 島 正 子 (殿 町)

濱 田 清 達 (宮 崎)

水 島 光 弥 (東草野)

青 木 繁 (大家庄)

長 井 正 英 (笹 川)



ご報告

赤い羽根共同募金助成事業

「みんなこられよ！パークゴルフ大会」

9月16日、朝日町身体障害者協会との共催による「みんなこられよ！パークゴルフ大会」を、あさひヒスイ海岸パークゴルフ場で行いました。

町内外の様々な障がい者協会や、障がい福祉事業所が集い、一緒にチームでホールを回り、和気あいあいと交流を深める機会となりました。大会終了後は、カルチャーセンターみやざきに移動し、たら汁を参加者で食べました。

参加者からは「体を動かしたり、美味しいたら汁を食べられて楽しかった」、「いろいろな障がいがある方が集まる機会を今後も続けてほしい」などの感想を聞くことができました。



ご案内

平成29年度福祉教育地域指定推進事業

福祉教育講演会「地域の中でひきこもりを支えるために」

近年、社会問題として大きく取り上げられている「ひきこもり」について、実際に支援に携わっている方のお話を聞くことができる貴重な機会です。どなたでもご参加できますので、この機会に「ひきこもり」について考えてみませんか。

日 時 平成29年11月22日(水) 午後7時～8時45分

場 所 五叉路クロスファイブ2階 会議室

内 容 講演会「地域におけるひきこもり支援」

講 師 NPO法人教育研究所(黒部市宇奈月町) 理事 丸田 光生 氏

定 員 30名

●朝日町共同募金委員会・日本赤十字社朝日町分区では、平成29年7月5日より発生しました福岡県・大分県大雨災害義援金を受け付けています。皆さまのあたたかいご寄付をお待ちしております。



入江

ひさし
久さん (若草町)

《プロフィール》

1944年、東京都生まれ。幼児期に朝日町に移る。高校在学時より童話を書き始め、これまで、「第1回県こども文化祭（1976年）」や富山県児童文学祭等で入賞を重ねる（執筆は「入江ひさし」名義）。現在は、シルバー人材センターの会員として、町内各所で活動している。



心の中に持っていて
ほしいもの

10月1日、射水市大島絵本館にて、第44回富山県児童文学祭が開催され、「童話コンクール」の入賞者の授賞式が行われました。

今回のあさひびとでは、5歳の男の子と、その亡き祖父との時空を超えた交流を描いた『ゆう太とチロロ』で、見事に最高賞である「富山県児童文学賞」を授賞された入江さんにインタビューしました。

『日記地蔵』▶

1997年発行の入江さんの作品。朝日町図書館で貸し出ししています。



『ゆう太とチロロ』：

亡き祖父の影響で獅子舞のこ
とを「チロロ」と呼ぶ5歳の男
の子「ゆう太」が主人公の物語。
夢の中で獅子と一緒に舞うゆ
う太の前に、祖父が見物に現れ
声援を送る。

■童話とともに半世紀

高校在学時に、校内で童話の募集があり、「描いてみようか」と思ったのがきっかけでした。それから50年、一年に一作程度のペースで描き続けてきました。「紙芝居」として仕上げた作品もあり、保育園などで披露した際には、たくさんの子どもの笑顔を見ることができ、童話を通じた人と人とのつながりを実感する日々です。

■童話への思い

これまで描いた作品には、「感謝」「や「友情」「勇氣」などをテーマにしたものが多く、読んだ方に「人として心の中に持っていてほしいもの」を感じてもらえるような作品を描けるように心がけています。今回、賞をいただいた『ゆう太とチロロ』にも、孫と祖父との心の触れ合いを通して「家族の絆・温

かさを感じてもらいたい」という思いが込められています。

■「描く」の楽しみ

作品は「あえて」完結させていないものが多いです。読んだ人が自由に結末を想像し、それぞれのストーリーを作ってもらいたいと思っています。

もともと描くことが好きで、毎年、年賀状では「元旦童話」として、挿絵入りの童話を描いたものを送っています。少しでも届いた方の心に残り、「また読みたい」と思ってもらえることが、童話を描くうえで一番の喜びですね。



▲入江さんの「元旦童話」の原本
その年の干支にちなんだ話なのですが、年賀状の上から下まで埋まる細かい文字で丁寧に描かれている。かわいらしい挿絵も好評を得ているポイント。

■朝日町民のみなさんに一言

小さな子どもからお年寄りまで、誰もが楽しみ、考えることができるのが童話の魅力だと思います。これからも読んだ方が笑顔になつてもらえるような作品を描いていきたいと思っています。

広報のひろがり

▼今回の特集記事を書くにあたり、どのような文体で進めていくか悩んだ結果、文中に「～しなければなりません」「～が必ずです」「～しませんか」といった言葉を多用することとなっていました▼会話でも文章でも、「前向きな言葉を使っていきたい」との思いからであり、何卒、ご容赦頂ければと思います▼記事を作成するにあたりまして、インタビューにご協力頂いた方々には、この場を借りてお礼申し上げます▼皆さんの「町を思う強い気持ち」を伺うことができ、私自身、一人の町民としてこれまで以上に朝日町に向き合うことができました。

【町の人口】 平成29年10月1日現在

人口	12,313人 (-18)
男	5,758人 (-8)
女	6,555人 (-10)
世帯数	4,835世帯 (-13)
	() は前月比